

世界最大級密閉式インバーターターボ冷凍機を追加導入しました

当社センタープラントにおいて、プラント冷熱製造 COP 向上、CO2 削減、冗長性向上のため、世界最大級のインバーターターボ冷凍機 1 基 (5,400RT) を導入しました。

1994 年より運用し更新工事時期を迎えた復水ターボ冷凍機を撤去し、同スペースに新設しており、インバーターターボ冷凍機の導入は今回で 2 基目となります。

当冷凍機は、圧縮機・冷水ポンプ・冷却水ポンプそれぞれをインバータによる回転数制御を行うことで、特に中間期や冬期の低需要期に消費電力を大幅に削減することができ、冷凍機単体の COP (成績係数) は最高で 24.3 (冷水負荷：20%、冷却水：入口 11℃の条件下での運転時) となります。

今後も、地区内の開発に合わせて設備を增強し、熱供給の安定性をより一層高めていきます。



インバーターターボ冷凍機 (5,400RT)

表：今回設置のインバーターターボ冷凍機仕様

冷凍能力 ※1	5,400RT
COP (成績係数) ※2	定格：5.6 最高：24.3

※1 RT は USRT (US 冷凍トン)。1USRT=3.517kW

※2 COP=Coefficient Of Performance の略。

効率性を示す成績係数のことで、値が大きいほど省エネルギー性が高い。COP=冷凍能力(kW)/消費電力(kW)

以上

みなとみらい21熱供給株式会社 ◆ 〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町一丁目1番地45 ◆ Tel. 045-221-0321 (代)

横浜市SDGs認証制度

